

イースター島の謎は  
モアイ像だけじゃない！

いま かいどく  
未だ解読できない！

ロンゴロンゴ  
～イースター島の「RongoRongo文字」～

ロンゴロンゴ文字？

「ロンゴロンゴ文字」はイースター島（現地名は「ラパ・ヌイ島」）でかつて使われた絵文字です。「ロンゴロンゴ文字」は木の板（文字板）に黒曜石やサメの歯で刻まれた絵文字です。



木の文字板

文字は人間や動物や植物などを表すと思われています。人間型と動物型の絵文字には、頭にこぶが描かれていて、「耳」や「目」を表すと考えられています。



人間型「ロンゴロンゴ文字」

頭に描かれているこぶは「目」や「耳」を表しているそうです！

「ロンゴロンゴ」の由来はラパ・ヌイ語の「コハウ・モトゥ・モ・ロンゴロンゴ（詠唱のために彫られた線）」から来て、「ロンゴロンゴ」は「詠唱」という意味です。



1958年にドイツ暗号学者のBarthelさんが発表した「ロンゴロンゴ文字」の意味（説）！！

植物	鳥	ウミガメ
ヤシの木	さかな魚	けむし毛虫
たっている男	トビウオ	ムカデ
すわ座って食べている男	ザリガニ	イカ
		円
		じゅうじ十字

あなたには何に見えますか？

「ロンゴロンゴ文字」は言語の文字であるかどうか未だに謎です。

現在する「ロンゴロンゴ文字」の文字板がほとんど残っていないため、解読することはなかなか難しいです。しかし「ロンゴロンゴ文字」は言語ではなくて「踊りの振付、篆画、農業などに関する知識を記憶するための記号」だと思う人もいます。

